



ごあいさつ

平成20年6月

理事長 長谷川良男

皆様におかれましては、平素より新発田信用金庫を格別にご愛顧、お引立て賜り、誠にありがたく心より御礼申し上げます。

当金庫は、大正13年7月の創業以来一貫して地域社会の繁栄に貢献することを基本理念に掲げ、地域金融機関として地域との共存共栄を使命に徹してまいりました。

本誌は、情報開示を通じて経営の透明性に努め、当金庫の経営内容をはじめとした業況の推移、地域に対する活動状況を皆様にご理解頂くとともに、尚一層のご愛顧を願いたくディスクロージャー誌『しんきんレポート2008』として作成いたしました。

平成19年度における日本経済は、緩やかな景気拡大を続ける一方、原油をはじめとするエネルギー関連価格の上昇による企業収益の悪化、サブプライムローン問題による信用不安の増大が招いた急速な円高の進行等、景気後退懸念が強まりました。

このような経済環境の中で、当金庫は健全性の確保と収益基盤の確立を課題に掲げ、貸出金残高の増強を積極的に推進するとともに、長期安定経営を図るべく不良債権処理等の資産健全化の施策を実施いたしました。

その結果、金融機関の健全性の指標である自己資本比率は13.49%と前年度末の数字こそ下回ったものの、依然として国内基準とされる4%を大幅に上回っております。

このような高い健全性を維持できますことは、ひとえに皆様からの深い信頼とご支援によるものと改めて感謝いたします。

今後におきましても、地域金融機関として“地域の皆様に信頼されるしんきん”であり続けるよう、役職員一同誠心誠意努力してまいる所存でございます。

皆様におかれましては、本誌をご高覧頂き、引き続き格別のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈りし、ご挨拶といたします。

2008
SHIBATA SHINKIN
DISCLOSURE

しんきん レポート